

# 茨城県つくば市

「一人ひとりが幸せな人生を送るために」  
4つの実践事例・実証モデル紹介

# つくば市の実践事例

## 健全なかたちでの 部活動の地域移行に 向けたチェックリスト

### 1. 現在の部活動の健全化

- a) 子どもの主体的な活動の推進
- b) 活動量・活動時間の健全化
- c) 複数種目を経験できる体制づくり
- d) ICTを活用した活動の質（練習の質、学びの促進、オンライン指導等）向上

### 2. 指導者の質・量の確保

- a) 学外組織の地域指導者の確保
- b) 教員の兼業兼職制度の利用
- c) 指導者の質向上を目的とした研修会の実施またはフオーアアップ制度の構築

### 3. 施設の確保

- a) 学校施設の地域開放による活動の実施
- b) 学校外のスポーツ施設の確保
- c) 学校施設による収益事業の実施

### 4. 責任・事務局団体の設置

- a) 学校外の責任団体（行政、社団法人、民間企業、地域競技団体等）がある
- b) 事務局機能を担う団体が存在する
- c) ICTを活用した事務機能（会計・連絡等）の効率化

### 5. 財源・保険

- a) 受益者負担による活動
- b) 行政からの予算配分または助成金
- c) 上記以外の方法（寄附金、スポンサー、イベント収入等）による財源の確保
- d) 新しい保険制度の導入

## つくば市の実践事例

**つくば市の特徴 様々なタイプのモデル校が存在**

**事例 1 総合型地域スポーツクラブ連携型**

**事例 2 大学・民間企業連携型**

**事例 3 地域企業連携型**

**事例 4 スポーツ少年団活用型**

# 実践事例 1 総合型地域スポーツ連携型

## 谷田部東中学校



2022.1/30 テレビ朝日「サタデーステーション」  
⇒Ctrl+クリックでテレビ朝日動画ページへ

室伏スポーツ庁長官が谷田部東中の部活動  
を視察 つくば

2021年11月9日



2021.11/9 室伏スポーツ庁長官来校  
⇒Ctrlキー+クリックでTBS動画ページへ

# 実践事例 1 総合型地域スポーツ連携型

## 運営の基本概要

**DCAA**  
**洞峰地区文化**  
**スポーツ推進協会**  
**2018年**  
**4月設立**



## 部活動とクラブの共存型

### 運営主体

- 市民団体

### 財源

- 受益者負担

### 活動日

- 週1回

### 事務局

- つくばFC (総合型地域スポーツクラブ)

### 民間と協働

### 指導者派遣

- つくばユナイテッドSun  
GAIA 他諸団体

# 実践事例 1 総合型地域スポーツ連携型

DCAA稼働前  
(平成29年度まで)

	月	火	水	木	金	土	日
朝	なし	部活	部活	部活	部活	部活	部活
放課後 (日中)	なし	部活	部活	部活	部活	部活	部活

DCAA稼働後  
(平成30年度以降)

	月	火	水	木	金	土	日
朝				部活なし			
放課後 (日中)	なし	部活	部活	DCAA	部活	どちらか1日可 (DCAA)	DCAA (AT)

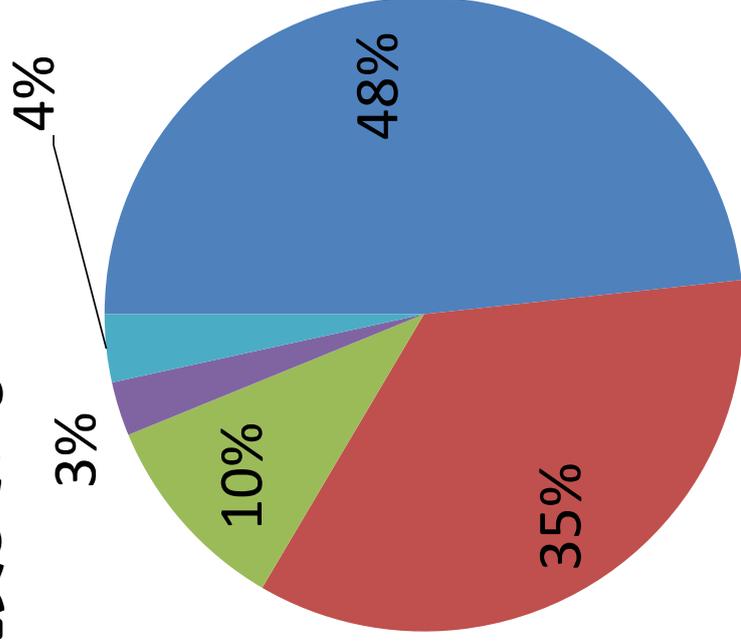
※DCAAはどの種目も週1回、実施曜日は種目によって異なる。

# 実践事例 1 総合型地域スポーツ連携型

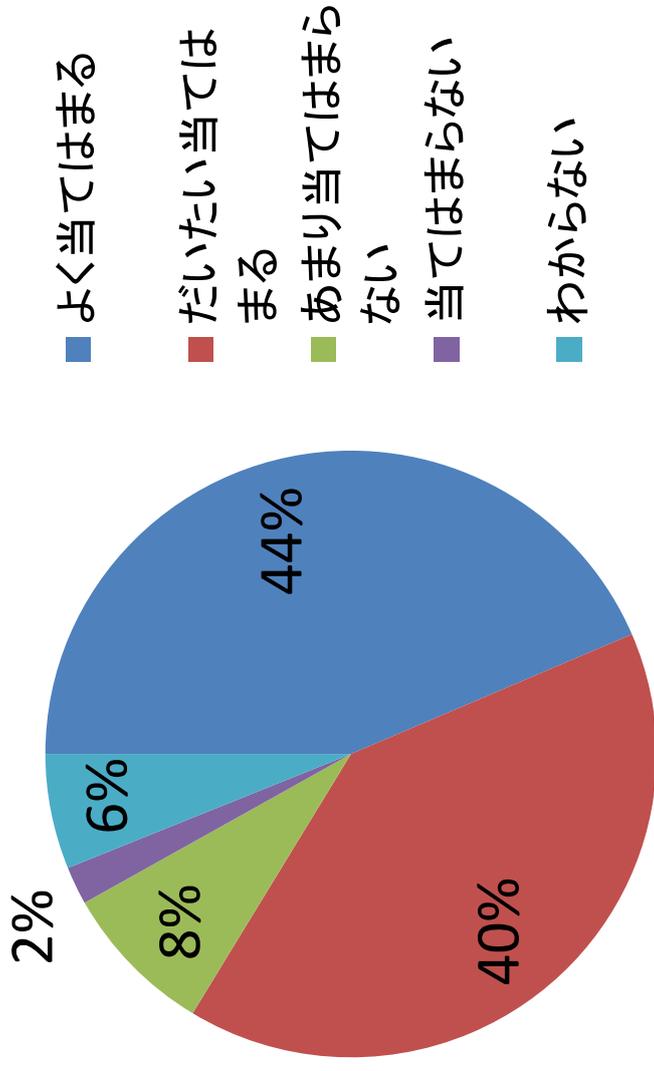
## 生徒アンケートより

アンケート実施日：2019/2月  
実施対象者：谷田部東中1,2年生徒

入会しているDCAAの活動は  
充実している



自分の技術・技能の向上が感じられる





## 実践事例 2 大学・民間企業連携型

### 実証事業概要

**日時：** 8/21 or 27 ~ 11月頃の土曜 or 日曜 (全10回)

**募集種目：** 土曜午前・・・野球、男女バドミントン、女子テニス、女子卓球、剣道  
土曜午後・・・陸上、男女バスケット  
日曜午前・・・サッカー、女子バレー、男子テニス、男子卓球

**謝金：** 時給 1,600円 (練習時間+30分で計算) ・ ※ 2h 4,000円

**指導体制：** 基本的に顧問がいない状態で1人で生徒の指導にあたります  
※ 安全管理・緊急時対応担当の教員が常駐

基本的に雨天でも教室等で実施します

### 今後のスケジュール

7/15	指導者決定
8/4	竹園東中訪問 説明会&顧問との打合せ
8/20 or 27	指導スタート

## 実践事例 2 大学・民間企業連携型

大学が「指導者研修」で指導者の質を担保

移行準備期間は、教員がシフト制で「安全管理」  
⇨ 緊急対応等にあたる



地域スポーツ指導者のための  
コーチングセミナー開催

【主催】  
筑波大学アスレチッククラブパートメント  
【開催協力】  
NPO法人スポーツコーチングインシアチブ  
【協力】つくば研教育館

【講師】  
石渡 圭輔 氏  
NPO法人スポーツコーチングインシアチブ  
（スポーツ）  
石渡 和典 氏  
筑波大学アスレチッククラブパートメント  
（アスリート）

申し込みはご自身の  
フォームより  
【受付】6/23 12:00

【開催日時】  
6.23 (木)  
17:00~19:00  
筑波大学 50000

【開催場所】  
『コーチングの基礎！』  
ユースセンター小ホール  
※会場にはお茶とお菓子をご用意しております。  
申し込みは必ずお名前・所属を明記し、お申し込みのうえお申し込みください。  
※申し込みは必ずお名前・所属を明記し、お申し込みのうえお申し込みください。

コーチングが社会向上には不可欠で、コーチ教育の普及が不可欠で、お申し込みをお願いします。

### 実証スタートに向けた準備が進行中



顧問教員と大学指導員との打合せ



連絡・調整アプリ活用の説明

# 実践事例 3 地域企業連携型

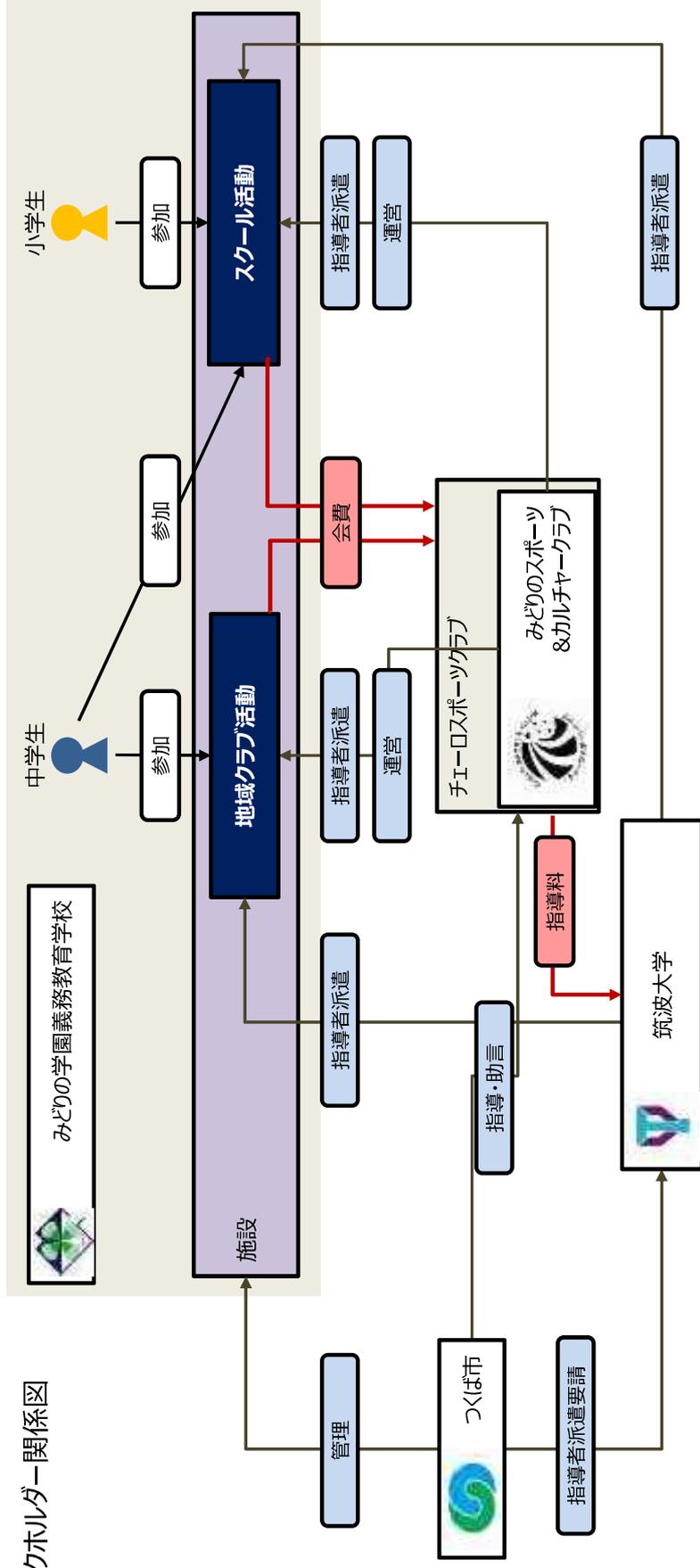
## みどりの学園義務教育学校

小学生対象のスクール活動から一体的に活動を行い、中学生向けの地域クラブ活動の会費の負担を軽減することで、持続可能な取組へ

### プロジェクト名

部活動2.0 みどりの学園部活動地域移行プロジェクト

### ■ステークホルダー関係図



# 実践事例 3 地域企業連携型

## 株式会社エンボス企画 主力事業概要

### ■ 主力事業 概要

### ■ スポンサー支援事業



スローガン

「みんながハッピー (=88) と笑う」

事業内容

22年から開始。様々な企業、店舗が出店し、子どもたちを中心に多世代が交流、楽しめる場を提供するイベントとして年5回開催。今年度は既に2回開催。



### ■ スポーツクラブ部門



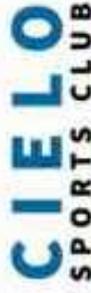
スローガン

「スポーツとの出会い」は一生に一度

事業内容

21年3月創設。つくば市みどりの地域にて、「スポーツの本当の楽しさ」を心から味わえる環境を整えたいという想いで設立されたつくば市唯一のスポーツ保育園。

### ■ スポーツクラブ部門



### ■ スポーツクラブ部門



スローガン

「ココロ踊る。カラダ動く。」

事業内容

21年5月創設。つくば市みどりの地域にて、未就学児から全年齢向けに様々なスポーツプログラムを提供している。



スローガン

「できた！」がいっぱい体験できる

事業内容

22年4月創設。つくば市みどりの地域にて、スポーツ教育に強みを持つ唯一の放課後教育施設。

## 実践事例 3 地域企業連携型

### 地域クラブ活動と学校部活動の比較表

22年度について、地域クラブ活動と学校部活動の違いは以下の通り

	地域クラブ活動	学校部活動
メリット	専門的な指導を受ける事ができ、技術力の向上が期待できる 週末の試合や大会に多く参加できる	無料で参加できる
活動日	木曜日、週末（土曜日、日曜日）いずれかの週2日	火曜日、水曜日、金曜日の週3日
会費	月額 3,850円	無し
指導者	種目の専門性を持った指導者、学校の教諭 ※指導者はインボス企画主催の指導者講習を受講	学校の教諭
練習試合・大会	全て参加可能	中体連主催の大会のみ参加可能
入会・退会 入部・退部	任意のタイミングで可能。 ※月途中で退会の場合、会費の払い戻しは不可	任意のタイミングで可能
活動場所	みどりの学園義務教育学校の学校校舎、グラウンド、体育館	みどりの学園義務教育学校の学校校舎、グラウンド、体育館

## 実践事例 3 地域企業連携型

### 8月 保護者説明会を実施

9月から1ヶ月の体験コースを実施予定、10月から本格実施！



## 実践事例 4 スポーツ少年団活用型

# 全市型スポーツ 団体構想

## スポーツ少年団の実態調査 (R3)

〇市内少年団への調査結果より (43団体が回答)

「現在の団体に中学生を参加させることは可能ですか？」

- すでに中学生が参加している 37%
- 可能である可能性が高い 23%
- 新規で立ち上げるなら可能 2%

計62%に可能性あり

- 現在の少年団の体制を利用し、「中学部」を設立できないが検討する。
- エリア別に主な種目が設立できるように各団体に相談していく。

〇 6つのエリアに分けた別

少年団の状況

- 現在約90団体が登録 (登録していない団体もある。)
- 少年団の会費は3000~4000円程度が一般的
- 報酬をもらっていない指導者が多い (保護者の指導者も多い)

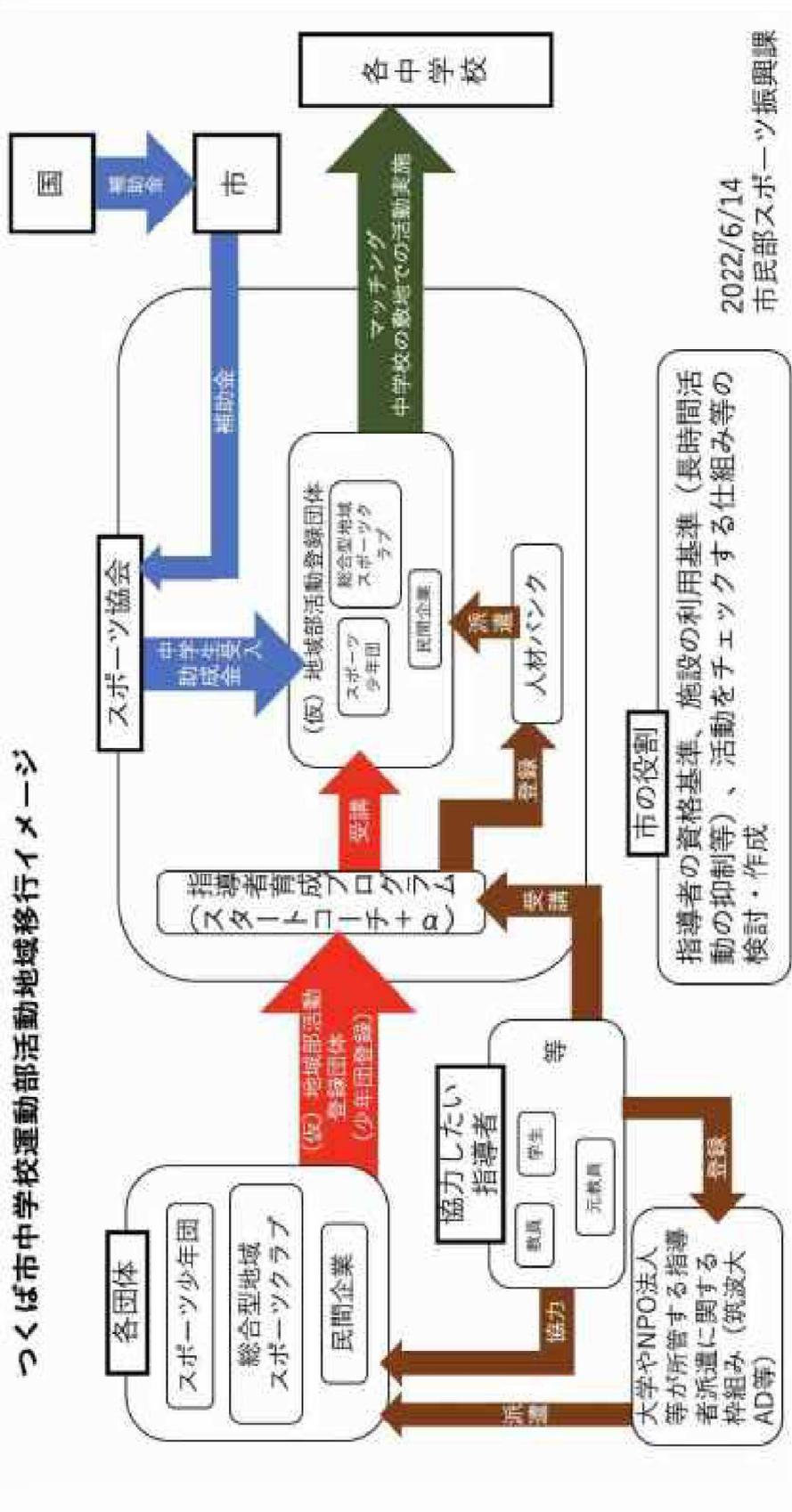


## 実践事例 4 スポーツ少年団活用型

# 行政内プロジェクト組織で構想、検討、今後へ

(教育委員会、スポーツ振興課、スポーツ協会、教育総務課、文化芸術課)

つくば市中学校運動部活動地域移行イメージ



# つくば市全体としての取組

## 平日練習日を市全体で1日削減

※地域移行が始まっていない学校が対象

## 令和4年11月第1週目から開始

### ■目的

- ・放課後の時間の使い方を選択できる環境づくり
- ・生徒の多様なスポーツニーズへの対応
- ・教員の働き方改革によって生徒へ還元

※令和4年7月に保護者宛通知を发出済み  
反対意見等の問合せは今のところない。

## まとめ

何のための部活動改革か？目的を常に考える。

### ■ 生徒にとっての意義とは？

◎ 生徒一人一人のニーズに合わせた選択ができる環境へ  
団体や指導者の選択：勝ちたい/楽しみたい/指導法/時間の使い方等等  
生涯スポーツの視点バーンアウト、ドロップアウトを阻止

### ■ 教員にとっての意義とは？

◎ 本来の業務に専念し生徒に還元できる環境へ  
教材研究・授業力の向上、生徒に向き合う時間の確保等  
そのために教員が選択できる環境を（部活顧問の選択/兼職兼業）

## まとめ

実践というチャレンジで得られる成果を  
全国に共有し、大きな動きにつなげることを願う

生徒にとって・教師にとって・社会にとって  
一人ひとりが幸せなスポーツ環境を

## 休日の中学運動部活動の地域移行に向けた対応状況

市民部スポーツ振興課

検討状況	<p>スポーツ庁は令和5年度(2023年度)から令和7年度(2025年度)までの3年間を地域移行への改革集中期間とし、令和7年度中には、休日の部活動の地域移行を達成することを目指すとした。</p> <p>つくば市としては、今後、関係部署や、関係機関が連携して課題を整理し、対応をすすめる。</p> <p>移行の方向性は、各学校での取組のほか、現在、以下の①、②を考えている。同時に指導者の育成(③)も重要な課題であると考えている。</p> <p>①部活動に対して熱意のある保護者会や地域指導者により、積極的な活動が見込める学校については、地域力を活かす。</p> <p>②長年地域のスポーツ普及に尽力してきたスポーツ協会をはじめ、地域の指導者やスポーツ団体、各中学校とも連携して地域移行の枠組みを作る。</p> <p>③部活動実施時における教育的意義の継承を図るため、指導者の育成も同時に進める。</p>									
検討事項	<p>①地域力を活かした部活動の地域移行</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>保護者会等による運営</li> <li>指導者の依頼や謝礼等の事務機能</li> <li>市内中学校での試験運用</li> </ul>	<p>②部活動の地域移行への枠組み検討</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各中学校の状況把握</li> <li>受け入れ体制</li> <li>指導者やスポーツ団体、各中学校のマッチング体制</li> <li>学校体育施設の活用</li> </ul>	<p>③指導者の育成・人員確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>指導者育成プログラム</li> <li>プログラム実施環境</li> <li>人員確保の仕組み</li> </ul>		令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)	令和8年度(2026年度)	
スケジュール	A 関係団体との協議	⇕	⇕							
	B 受入れ方法・体制の検討	⇕	⇕	⇕	⇕	⇕	⇕	⇕	⇕	
	D 指導者の育成・人員確保		⇕	⇕	⇕	⇕	⇕	⇕	⇕	⇕
	E 試験運用及び地域での受入れ開始	⇕	⇕	⇕	⇕	⇕	⇕	⇕	⇕	⇕
	その他の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者負担と公費負担(団体・個人)</li> <li>地域移行推進段階、地域移行完了段階それぞれのフェーズでの部活動の在り方</li> </ul>								

休日部活動完全地域移行